

進路指導部だより

令和7年度

第5号

今年も残りわずかとなりました。保護者の皆様には日々の教育活動におきまして、ご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。

今回の進路だよりでは、B部門小学部における進路学習に関する取り組みについて紹介します。様々な学習の中で取り組んでいることが、どのような力につながっていき将来の生活に活かされるのかを例を示してお伝えします。

～B部門小学部の具体的な取り組みとつながる力～

係活動<1年生>



児童の得意なことや、できるようになってほしいことを考え、係分担をして取り組んでいます。友達同士の協力する良さや責任感を感じたり、繰り返し取り組んだりすることで自信をもてるようにしています。

係活動<2年生>



保健カードを保健室へ取りに行き、各学年に配る活動に取り組んでいます。渡す際に「ありがとう。」と言われることで嬉しいと感じたり、達成感を味わえたりするようにしています。同様に献立を友達に知らせる係などもあります。

自分でできることを自分でやる経験は、自立した生活への一歩です。小さなことでも「自分でできた」という経験の積み重ねが自信につながり、もっとやってみたいという意欲につながります。

自立活動<3年生>



学年の友達とゲームをする時間を設けています。チームや順番を決める時間を取り、何度か経験をしていくことで、希望が重なった場合にはじゃんけんすると早く解決することを知ることができました。

自立活動<4年生>



モップ掛けやお盆拭きを分担して取り組んでいます。友達と協力して教室や廊下のモップ掛けをしたり、お盆の水気がなくなるように丁寧に取り組んだりするように促しています。

友達と一緒に活動することで、相手に理解してもらえるように分かりやすく伝えたり、相手から感謝されたりするなどの経験を積み重ねます。その経験が、職場や集団の中で自分の役割を主体的に果たす力につながります。

生活<5年生>



Ⅱ課程では、「働く人を調べよう」という単元で家族の仕事について調べました。仕事内容や資格、今学んでおくべきことなど、社会に出たときに必要な内容を、身近な大人にインタビューし、まとめました。自分の将来を考える機会になったと思います。

道徳<6年生>



I課程では、「夢に向かって」という単元で学習しました。色々な分野で活躍している人の生き方を学び、今自分が夢中になっていることが将来どのように活かされるかを考えました。自分の将来の夢や目標の実現に向け自己を見つめ返す機会となったと思います。

身近な大人の仕事を調べることで、将来、社会に出て仕事をする上で、必要な情報や、将来の自分を考える機会を得ることで、なりたい自分をイメージできるようにします。

☆自立に向けてチャレンジし、ステップアップする機会は、日常のありとあらゆる場面にあふれています！

活動の中で、最初は難しいと感じていたことであっても、教師の支援を受けながら繰り返しチャレンジしていくことで、できるようになることがたくさんあります。あきらめずに取り組んだことで、「できた!」「わかった!」という気持ちが自信になります。また、「ありがとう」「がんばっているね」などの称賛や励ましの言葉が、意欲となって、次の課題へ向かう原動力になっています。

☆お知らせ☆

進路指導部では、学校HPやデジタルキャリアパスポートに、「学区内及び周辺市町村の福祉施設一覧」で、【就労移行支援、就労継続支援A・B型、自立訓練(生活訓練・機能訓練)、生活介護、短期入所・施設入所支援】を掲載しております。ぜひご利用ください。